



東日本大震災から15年の ソーシャルワーク実践を振り返り 今後の取り組みを考える

東日本大震災から15年。 被災地宮城の実践から学ぶ。

日時 2026年8月22日（土）13:30～16:30

場所 トークネットホール（仙台市民会館）第3会議室
仙台市青葉区桜ヶ丘公園4-1

プログラム

13:30 開会あいさつ 堀口 頼章（同窓会宮城県支部長）

13:35 基調講演

「東日本大震災における様々な被災者支援の実践をたどる」

日本社会事業大学大学院 福祉マネジメント研究科 准教授 北川進 氏

14:15 パネルディスカッション

テーマ「東日本大震災の取り組みからつながった成果と、活かされない課題」

● 登壇者

南三陸町社会福祉協議会 事務局長兼地域福祉課長 高橋吏佳 氏

石巻市雄勝歯科診療所 所長／男の介護教室 主宰 河瀬聡一郎 氏

社福法人みちのく大寿会 特別養護老人ホーム久慈平荘 副施設長 野田大介 氏(岩手県支部)

● 進行 東北福祉大学 総合福祉学部准教授 大石剛史 氏

15:20 休憩

15:30 参加者によるグループ討議

テーマ「災害時にいきる平時の取り組み、その要素とは」

16:25 まとめ・閉会あいさつ

主催：日本社会事業大学同窓会・同宮城県支部

協力：日本社会事業大学同窓会岩手県支部・同福島県支部

後援：日本社会事業大学

申込方法
裏面参照



目的

東日本大震災から 15 年が過ぎました。未曾有の大災害の中、私たちソーシャルワークに携わる者も苦境と苦悩の中、試行錯誤をしながら実践を積み重ねてきました。その結果、被災者の生活再建や地域の復興に何らかの力を発揮したはずですが、しかしながら、西日本豪雨や能登半島地震など、その後の大災害でも課題が繰り返されていることも事実です。被災地宮城で取組まれてきた貴重な実践が、その後や平時の取り組みにつながらないのはなぜなのでしょう。

本セミナーでは、15 年の変遷をたどりつつ、災害と日常を分けてしまいがちな私たちの意識や仕組みはなぜ生まれるのかを問い、参加者それぞれの日々の実践につながるきっかけとなることを目指します。

講師等のプロフィール

北川 進 准教授

【略歴】1996年、日本社会事業大学卒業。東北福祉大学院総合福祉学研究科修士課程修了。児童養護施設指導員を経て宮城県社会福祉協議会入職。主に地域福祉業務に携わり、2012年4月より2年間、東日本大震災被災地である石巻市社会福祉協議会に派遣され、支えあい総括センター所長として被災一支援業務に従事。発災から11年間被災者支援業務を担当。2023年4月より現職。社会福祉士

【主な研究分野】災害時ソーシャルワーク、災害ボランティア支援、社会福祉協議会における地域福祉展開

【担当科目】★/コミュニティ SW/生活困窮者支援/地域共生分野事例研究/共生社会の仕組みとデザイン/SWの価値と規範/災害 SW/リスクマネジメント



申込方法

次の URL にアクセスし、申し込みフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/3YWdVCA9CsNYcvUB8>



日本社会事業大学同窓会

検索

※セミナー後、17 時より懇親会を予定しております。ご参加の方は、申し込みフォームにてお申込みいただき、当日会費(5,000 円)を受付にてお納めください。

令和8年8月8日(土) 申込締め切り

アクセス

地下鉄南北線勾当台公園駅、
地下鉄東西線大町西公園駅から徒歩約 10 分



お問い合わせ 日本社会事業大学同窓会

204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

TEL: 042-496-3053

E-Mail: kouyu@jcs.w.ac.jp

宮城県支部 担当: 北川

kitagawa@jcs.w.ac.jp

(お問い合わせはメールにてお願いいたします)



特典: 在校生の皆さま

福祉セミナーへの参加助成制度有

同窓会 HP <https://jcs.w-alumni.com/>

JCSW ネットワーク職場体験等応援制度



Welcome!

